

小学校第1学年 単元名「マツの種とクリスマスツリーづくり」(2時間)

1 単元設定の理由

校庭や公園では、秋になると落ち葉やどんぐり、マツかさなどが落ちている。この落ち葉やマツかさなどを採取することで、児童は、季節の移り変わりを感じる。また、これらを利用したものづくりを通して、遊びを工夫し、児童自身の生活を楽しくできることを感じ取る。さらに、マツかさからは、本来種を採取することができ、この種の採取と育苗が、地域の海岸林再生の一助になり、児童の生活を豊かにする。そこで、本単元では、地域の海岸という身近な自然や、海岸林であるマツの枯死の現状や海洋と生活との関わりについて理解するとともに、季節の変化によってできるマツの種の採取とマツかさを利用したクリスマスツリーづくりによって、海洋との共存や自然のものを利用した遊びについて学習したい。

2 単元目標

秋の校庭や公園で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、秋の自然や夏の違いや変化に気付いたり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができるようにする。

3 単元の評価基準

秋の自然や季節の変化に関心を持ち、秋の自然を利用して、みんなで楽しく遊んだり、それらを振り返って伝え合ったりするなどして、楽しく生活しようとしている。【生活への関心・意欲・態度】

四季の変化や、季節によって生活の様子が変わることについて自分なりに考えたり、身近な自然やものを利用した遊びを工夫したりして、それをすなおに表現している。

【活動や体験についての思考・表現】

夏から秋になって自然の様子が変化し、季節によって生活の様子が変わったりしていることや、身近な自然を利用して遊びをつくり出す面白さに気付くとともに、それらを伝え合い、交流することの楽しさに気付いている。

【身近な環境や自分についての気付き】

4 海洋教育との関わり

海の自然、海をとりまく人や地域社会との深いかわりについて関心をもとうとする児童を育てる。

【海を知る】

海岸の環境保全活動の体験を通して、海岸の環境保全に主体的にかかわろうとする児童を育成する。

【海を守る】

マツかさという海岸資源について理解し、マツかさを利用したクリスマスツリーづくりを通して、海岸資源を持続的に利用することの大切さを理解できる生徒を育成する

【海を利用する】

5 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	マツの種の採取をしよう 【海を知る活動・海を守る活動】 地域の海岸と私たちの生活との関わりと海岸林の再生について知る ・マツは、海岸や僕たちの街を守ってくれているんだね ・害虫によって、たくさんのマツが枯れている ・海岸林を整備するためにマツを育てるんだね マツ雌花から種を採取し、海を守ろう 課題 マツの種はどのようにとればいいのか	海には多くの生物や植物などがあり、そのおかげで私たちは安全に生活できていることを確認する マツが急激に枯れている状況を写真で示し、海岸林を再生する必要性を伝える

	<p>マツの種の採り方を画像で確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月頃にマツの雌花をとるんだ ・ 雌花のかさが少しずつ開いていくよ ・ マツかさが開いたら、ひっくり返して採る ・ 細かい所は、ピンセットでとるのが <p>マツの雌花を採取する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポロポロと種が落ちてくるよ ・ 面白い ・ あるけど落ちてこない <p>まとめ マツの種は、マツかさをひっくり返し、トントンしたら種が採取できる。また、この種が海を守ることにつながる</p>	<p>マツの採取方法を静止画や動画で提示し、雌花の色やかさの開き方、種の落とし方などを確認する</p> <p>二人一個のマツの雌花配布する</p> <p>捨て板や新聞紙の上で、種を落とし、種の数を数えて袋に入れることを伝える</p> <p>海洋との共生やマツの種を採取することが、海岸のマツを再生する一助になることを伝える</p>
2	<p>マツかさを利用したクリスマスツリーづくり 【海を利用する活動】</p> <p>前時の内容を思い出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何かトントンした ・ 前は、マツの種を採ったよ <p>マツかさで、クリスマスツリーをつくろう</p> <p>課題 マツかさで、どのようにクリスマスツリーをつくるのか</p> <p>クリスマスツリーの作り方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙粘土を丸めて、ボンドで貼るんだ ・ 好きなモールの色でグルグルまくんだ ・ 最後は、ペットボトルキャップの上に置いてできあがり <p>マツかさに装飾する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しいな ・ 上手く貼れないよ <p>まとめ マツかさでクリスマスツリーを作るには、ボンドで紙粘土を貼り、モールで装飾すればできる。捨ててしまうマツかさがクリスマスツリーとして利用できてうれしい。</p>	<p>マツかさを廃棄するのではなく、利用していくことができないか考えさせる</p> <p>クリスマスツリーのつくり方を静止画や動画で提示し、製作手順を確認する</p> <p>インターネットが利用できる環境を準備する</p> <p>装飾の仕方が分からない児童には、紙粘土の貼り方やモールの巻き方などを教えたり、手本を見せながら製作の仕方を伝える</p> <p>回収したマツかさなどを利用することで、海もきれいになり、元気なマツが育つことを伝える</p>
<p>外部連携 / 教材等</p> <p>白山市内の小学校と中学校が連携して海洋教育に取り組むことを目的に、選考授業として実践活動を試みた。</p> <p>中学校の技術・家庭科技術分野の教員が、中学校の校区である小学校に出前授業という形で赴き、小学校第1学年における生活科で1時（海を知る・海を守る）の活動を行った。また、事前に小学校第1学年担任3名と打ち合わせをした上で、2時（海を利用する）の活動を行った。教具や教材などは、中学校の技術・家庭科技術分野の教員が事前に準備をしている。</p>		